



とみなが 富永 議員  
そうぞう 創造

# 自然豊かな西側地域の活性化は

## 複合的利活用と環境保全に努める

### 良好な自然景観を守る条例を

**富永** 10ha以上の森を削り、大規模な太陽光発電施設が設置されようとしている。こうした開発には自然環境の破壊や景観悪化の懸念がある。

町全体の自然環境、生活環境及び景観との良好な状態を守り維持するためにも、将来を見据えた町独自の条例が必要ではないか。

成27年6月に良好な自然、景観及び生活環境との調和を図り設置区域、及びその周辺区域における災害の防止を目的に「矢吹町太陽光発電設備設置指導要綱」を制定し、面積が5千㎡以上の場合適用されます。事業者は設置に関する届出をすることとし、その中には地元自治会等に対し、説明会を開催し理解を得るものとしております。

ます。

今後は、現在の要綱による効果の検証を行い、あわせてさらなる規制策が必要かも含め、先進地の事例調査等を行いながら検討してまいります。

**町長** 本町の基幹産業は農業であり、「農業が元

気な町をつくります」の政策の下で積極的に農業全体の支援を行っております。

水稲では経営所得安定対策事業の推進、日本型直接支払交付金においては23組織で取組を行い、その他農地維持支払交付や資源向上支払交付金等の国の助成制度を利用して所得の向上及び農村の多面的機能の向上を図っております。



西側三十三観音付近

国も東日本大震災以降、再生可能エネルギーの導入を推進しており町でも地域との共存を図れる事業については、未活用地の有効活用と合わせ推進したいと考えており

**富永** 小規模農業といえども、「一億総活躍プラン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の視点からみれば、町にとって重要な地域資源であると思うが、第6次矢吹町まちづくり総合計画において、どう活かしていくのか。その考え取り組について伺う。

これらの取組とともに、小規模農家の実情に合った支援についても関係機関と連携を図り、農業全体の振興に向け支援してまいります。

### 矢吹町西側地域振興は

**富永** 隈戸川を中心とする豊かな自然や歴史文化が、町西側地域には残されている。

この眠れる地域資源を宝として町づくりに活かし、次世代に残すべきであると考えるが、第6次矢吹町まちづくり総合計画では、どう活かしていく考えなのか。

美化に努めていることは多くの町民に認識され大いに評価されております。町も、このような取り組みの協働のまちづくりを推進しており、大いに感謝しています。都市計画マスタープランでは、緑の拠点、自然環境保全エリアと位置付けております。

今後は井戸尻地区の森林再生事業も実施されることから西側エリアの複合的な利活用を引き続き検討し併せて次世代への継承を含めた環境保全に努めてまいります。

**町長** 西側地域は三十三観音や袖ヶ館跡地、隈戸川を中心とした自然豊かなエリアです。1区や2区の行政区、建設協力会、こうすつペ西側イメージアップ作戦が自主的活動として草刈や植樹、散策路整備等の環境